



とうえい

令和6年10月22日

東栄小学校

学校だより第6号

「あいさつ」って何がいいの？



この問いに答えてもらうのに、とってもふさわしい人たちが、この東栄小学校にはたくさんいます。それは、**あいさつ**ボランティアの東栄っ子たちです。誰に言われたわけでもなく、登校してくるとそれぞれの場所について、やってくる東栄っ子たちに「おはようございます」のシャワーを浴びせ始めます。一体、**あいさつ**の何がそんなにいいのか、この子たちに聞いてみました。



あいさつ運動をすると自分もいい気持ちになり、されたがわもいい気持ちになります。

わたしがあいさつをすると、みんなえがおで「おはよう」とちゃんといってくれて、うれしくてたおれそうでした。



朝、眠くてやる気が出ない時も笑顔であいさつをすることで「がんばろう！」という気持ちになれる。

みんながあいさつをしたり、返したりすると、うれしくなって、気持ちよく学校に行くことができます。

あいさつは人を元気にする力があるので、あいさつをした方もされた方も心が温かくなり、気持ちがよくなります。



昔は全然あいさつをしなかったし、されても声が小さかったけど、やるにつれて、あいさつの楽しさ、返してくれたときのうれしさが分かって、あいさつが好きになった。

あいさつを返してくれると、すごく心が晴ればれて、すっきりして授業をうけることができ、学校がますます楽しくなって、最高です。



こうしてみると、やっぱり**あいさつ**っていいものだ、改めて思います。そして、こんないいことがいっぱい詰まった**あいさつ**を、進んでボランティアで行ってくれる東栄っ子たちがいて、それに応えて、明るく元気に**あいさつ**を返すことができる東栄っ子たちがいます。こんな東栄小学校が、ますます幸せな学校になれないはずがありません。

しかも、地域の方々も定期的に**あいさつ**運動をして後押しをしてくださいます。さらに、ご家庭でも保護者の皆様が、毎日、心温まる**あいさつ**を子どもたちにしてくださっています。これで「ありがとうプロジェクト」（東栄小から「ありがとうの花」を地域に広げて、みんなで幸せになろうというプロジェクト）が進まないはずがありません。感謝いたします。



「地域の方々による
あいさつ運動の様子」

最後に、**あいさつ**ボランティアに参加した1年生男の子の言葉を紹介します。

みんながしあわせで、ありがとうのはながさきますようにというきもちをこめて、あいさつをしました。

(校長 中島学路)